

H30.1.31

【概要版】

国家戦略特区ワーキンググループヒアリング資料

# グローバル農業の戦略拠点の形成に向けて

～平成28年熊本地震からの復旧・復興と、

世界とつながり、世界と戦えるくまもと農業の実現へ～

“森林の担い手への集約”と、

“新たな担い手参入”の加速化・実現に向けて

熊本県



# 逆境の中にこそ夢がある

挫折



1947年1月

旧満州国からの引揚者の両親のもと、九人兄弟の七番目として、小作人、借家の貧しい生活を送る

1965年(18歳)

高校の成績は、220人中200番台。新聞配達のアルバイト。しかし、「夢は小説家、牧場主、政治家」

1968年(21歳)

地元稲田村農協を経て、農業研修生として渡米  
しかし、ネブラスカ大学での3ヶ月間の学科研修で、  
学ぶ喜びを初めて実感

過酷な  
環境



1971年(24歳)

ネブラスカ大学農学部に入學

1975年(28歳)

ハーバード大学大学院博士課程に入學

1979年(32歳)

ハーバード大学政治経済学博士号取得

1980年(33歳)

筑波大学社会工学系講師に就任。以後、助教授、教授昇任

1997年(50歳)

東京大学法学部教授に就任。政治過程論講座を担当

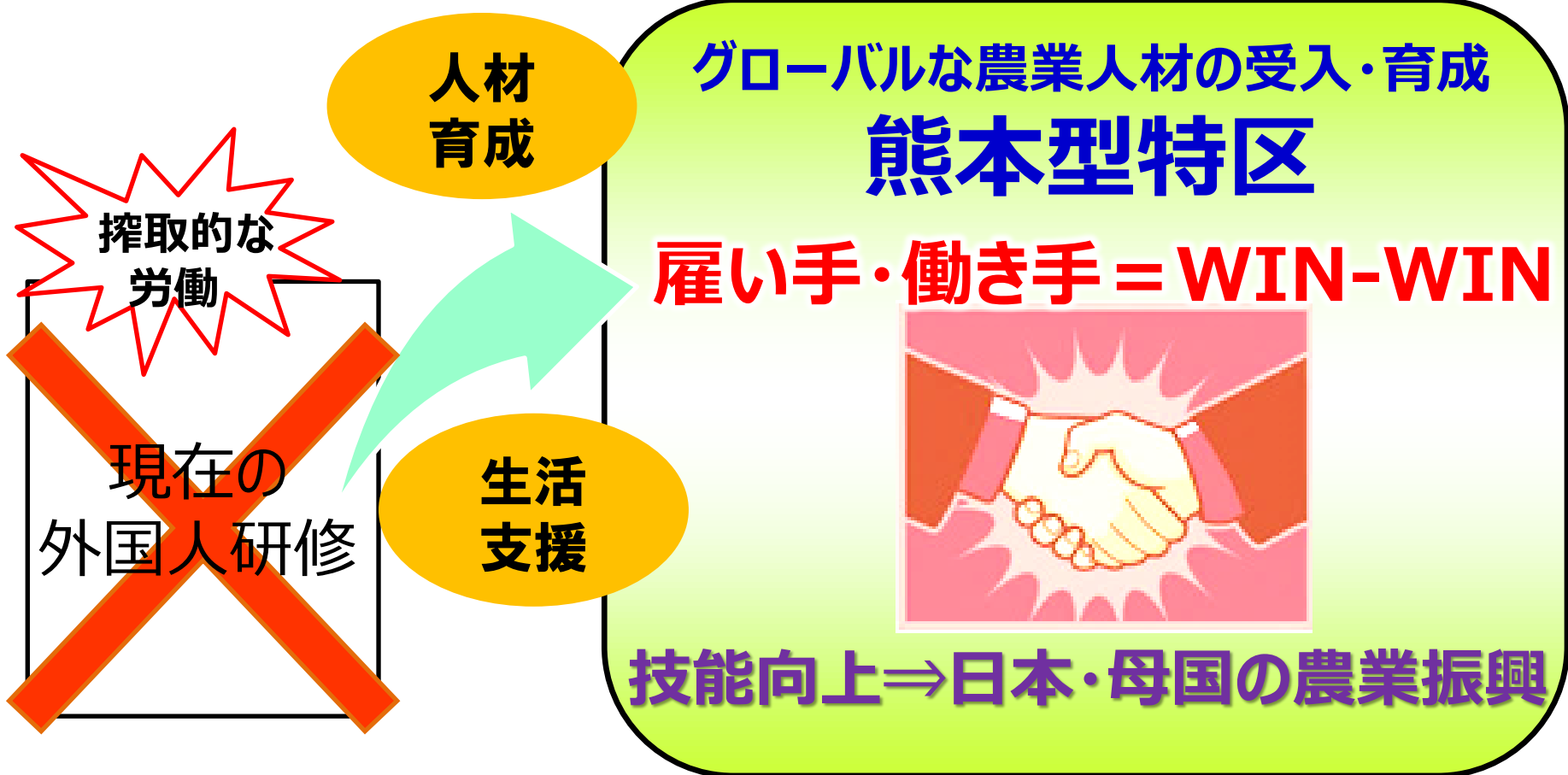
2008年(61歳)

熊本県知事に就任、2016年再選(現在3期目)

外国人材に対する雇用環境等の  
抜本的な改革が必要



# 政治は可能性の芸術 不可能を可能に



外国人材と共同経営できる人材を育てたい



# くまもとと農業の強み





# ヒト

震災復興に向けた外国人材の  
受入・育成体制の整備 **中核**



(入国技能要件の緩和)  
(生活環境の充実のための規制緩和)



## グローバル農業の戦略拠点の形成

熊本での実践 ⇒ 日本農業を牽引



(農業機械自動化等  
規制緩和)

# 技術

農業技術イノベーションと  
技術交流の促進



(ハラール規制緩和)

# モノ

戦略的な輸出・インバウンド推進



# 国の一歩先をいく森林管理システム

全国に先駆け  
「森林版の中間管理機構」設置

市町村主体



県域展開

国の新たな森林管理  
システム

熊本独自の森林と施業の  
集約化モデル事業

森林集約の加速化



“森林の担い手への集約化”と“新たな担い手参入の加速化”の実現へ

# 実現に向けた大胆な規制改革

① 県段階での  
「森林中間管理機構」の設置

② 所有者不明森林に対する  
利用権設定、強制登記等

③ 認定事業主の要件緩和

森林集約・民間等新規参入

稼げる林業

林業の  
世界産業化

地域活性化

